

## ダチョウさんの卵②

みなさん、こんにちは。

前は若い群れにダチョウの卵をプレゼントしましたが、思っていた程人気でなかったことは周知かと思えます…。今回は大人の群れに提供してみました。

前回、紹介し忘れましたが、例の卵は姫路市立動物園内で飼育されているダチョウのシャッキーさんが産んだものです。



シャッキー「私の産んだ卵はどこへ？」  
今回はリスザルさんのもとに行きましたが、動物園で展示したり、小学校への学習に活躍したりと…。未だに味の確認はしていません。

話がそれましたが、リスザルさんたちにプレゼントしてみました。若い群れは、あまり興味を示しませんでした。大人の群れはどうでしょう。



何ということでしょう。早速、中の餌をとり始めました。

思いのほか、人気!?



代わり替わり中の餌を知り合うリスザルさんたち。

ケンカもしないけど、大喜びをしているわけでもなく、淡々と餌を食べるリスザルさん。



ちょっとイメージとは違う感じですが、これはこれで成功ですかね。

それにしても、少し気になる事が…



なぜかみんな地面に降りず、木の枝からしか触らないだなんて…。少しは警戒していたのでしょうか？あと、腕の太いケンタくんはなかなか腕が入らず苦労していたようです。今度は穴を大きくしますね。

朝、展示場にリスザルさんたちが出ると寝室の掃除をしています。その時に普段聞きなれない展示場で何かが落ちる音が何度かしていました。薄々気づいていましたが、夕方に展示場の掃除に入った時にすぐわかりました。



ダチョウさんの卵は粉々になっていました。きっとおもちゃとしてもリスザルさんたちが楽しんでくれたようです。

今度は壊れないおもちゃをプレゼントしたいと思います。